



## 第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

プレイズリード: 渡真利千佳子姉

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「主は今生きておられる」 「見張り人として」	会衆	
聖書朗読	マタイ 16:21~28 (新約聖書 p32)	司会	
祈禱		司会	
賛美	新生 66	牧師	
メッセージ	「自分の十字架」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	聖歌 521	会衆	
献金		会衆	
報告		司会	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



## 第二礼拝次第

メッセージ: エドリアン・アルセ師

司会: エゼキエル・アルセ兄 奏楽: 郭永東牧師

プレイズ: 「I love you Lord」 「Jesus loves me」

「Immanuel」 「Amazing Grace」



## ファミリー礼拝

お話し: 渡真利千佳子姉

聖書: ヨハネによる福音書 18:28~38

メッセージ: 「ピラトの裁判」

## <巻頭言>

十字架のない神の国はありません

牧師 郭永東

受難節は、私たちをもう一度十字架の前に立たせます。イエス様が苦しみと死の道を語られたとき、ペテロはその道を受け入れることができませんでした。彼は主の栄光は望みましたが、十字架の道は望みませんでした。しかしイエス様はペテロに、「あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」と言われました。ペテロの言葉は、主を愛する心から出たように見えたのですが、その中には神の御心よりも人間的な思いが先立っていたのです。

今日の私たちの信仰もまた同じです。私たちは神の恵みと平安は求めますが、悔い改めと従順、犠牲と忍耐は重荷に感じてしまいます。祝福は願いますが、へりくだることは嫌い、栄光は期待しても、十字架は避けたいと思います。しかし、十字架のない神の国はありません。苦しみのない栄光もなく、死を通らない復活もありません。神の国は、人の計算や期待の上に立てられるのではなく、主の従順と犠牲の上に成り立つのです。

受難節を歩むこの時、私たちは自分自身を見つめ直さなければなりません。私は神のことを思っているのか、それとも人のことを思っているのかを静かに問い直すべきです。主が歩まれた十字架の道を黙想し、苦しみの向こうにあるいのちと復活の希望をしっかりと握る、真実な信仰が私たち一人ひとりに与えられますように。